

歴史は未来の羅針盤

# 温故知新

これまでこの欄では、日野町史に関わる内容を中心に掲載してきました。『近江日野の歴史』全9巻も残すところ、「絵図・要覧編」（平成26年12月刊行予定）のみとなりました。今回は、町史編さん事業で収集・整理してきた古文書などの史料を、事業完了後も引き続き保存・活用してゆく予定の旧山中正吉邸についてお知らせします。

## 旧山中正吉邸を公開します

馬見岡綿向神社参道に面する日野商人山中正吉家の本宅を、平成27年3月末まで、月1回程度無料公開をします。

当家は、現在、近江日野商人館となつている旧山中兵右衛門家の分家にあたり、静岡県富士宮市で酒・醤油の醸造業を営んだ代表的な日野商人です。

この建物は、「ギャラリー仁正寺藩」として公開されていましたが、



▲旧山中正吉邸

所有者から町有化の打診がありました。町では、懸案であった町史編さん事業での収集資料の保管場所として土蔵を活用できること。また、立地、規模・構造、歴史的背景など文化・観光的価値が高いことなどから、後世に伝えるべき遺産として保存するため購入しました。なお、建物や家財道具などはそのまますべて寄付していただきました。

特定地域再生事業という内閣府の補助事業に採択され、平成25年度に土地購入と改修工事を行いました。この事業では、旧山中邸を、日野商人の心得や伝統料理などについて体験を通して学ぶとともに、日野の文化遺産を保存しつつ活用してゆくための、観光や教育などの多目的施設と位置づけ、なるべく現状を維持し、文化財的価値を損ねないよう建物の改修をしました。また、隣接する土地を、公衆トイレを備えた大型バスも利用可

能な観光駐車場として整備しました。旧山中邸は、約一三〇〇㎡の敷地に、主屋・座敷・新座敷・洋間をはじめ蔵3棟・井戸屋形・納屋などが建っています。道路に面する西面は門と板塀が連なり、日野特有の棧敷窓が設えられています。主屋は切妻造一部2階建てで、田の字型の四ツ間取りを基本とし、奥二ワには大釜付の5口クド（おくどさん）があります。新座敷は格式の高い数奇屋風書院造で、東



▲旧山中正吉邸の新座敷庭園

側に綿向山を借景とした広大な庭園が付きます。洋間はマントルピース（だんろ）を備えた重厚な造りで、レトロな雰囲気を感じられます。主屋は江戸時代後期の建築ながら、昭和13年頃に新座敷・洋間などの増築と同時に全面的に改装されました。

今年度も活用に向けた改修工事を引き続き行う予定で、本格的な公開は平成27年度を予定しています。それまでの間、暫定的に無料で部分公開を行っていきます。この機会にぜひ見学にお出かけください。

## 今後の公開予定

公開日および時間は次のとおりですが、都合により変更する場合があります。

|           |           |
|-----------|-----------|
| 6月15日(日)  | 7月20日(日)  |
| 8月17日(日)  | 9月21日(日)  |
| 10月18日(土) | 10月19日(日) |
| 11月16日(日) | 12月21日(日) |
| 1月18日(日)  | 2月21日(土)  |
| 2月22日(日)  | 2月28日(土)  |
| 3月1日(日)   | 3月15日(日)  |
| 午前9時～午後4時 |           |

なお、場内での喫煙、飲食、物品販売、迷惑または器物汚損行為等は堅くお断りいたします。